

白宝水産 BCP（事業継続計画）策定

BCP 策定には社長である私自らが取り組み、策定の意義を全社員に対して説明します。

BCP 策定には全社員の協力が不可欠であり、社長自らが宣言し、社員の理解を深めることが基本となります。

幹部社員と話し合いながら、BCP の根幹となる事業継続方針を定めます。

事業継続方針は、緊急時に自社が取る行動の優先順位を示すもので、次のような事業継続方針を定めました。

1. 事業継続方針

- ・従業員とその家族の安全を守る
- ・顧客への供給責任を果たす
- ・地域や顧客の復興を支援する
- ・業務を正常レベルに戻す

2. BCP の内容について

BCP の作成にあたっては、おもに5つの柱を中心に計画を立てていきます。

- (1) 継続・復旧すべき中核事業の特定
- (2) 緊急時における中核事業の目標復旧時間
- (3) 緊急時に提供できるサービスのレベル
- (4) 事業拠点、生産設備、仕入品調達等の代替策の準備
- (5) 全従業員との事業継続についてのコミュニケーション

3. BCP 策定・運用手順

1. BCP 策定宣言と事業継続方針の決定
2. 重大災害とその被害の想定
3. 自社の存続にかかわる重要業務の確認
4. 重要業務の精査
5. 事前対策の検討・実施
6. 目標復旧時間の設定
7. 緊急対応マニュアルの策定と共有
8. 訓練・計画の見直し

4. BCPの必要・重要性

東日本大震災では多くの企業が倒産や事業の縮小などに追い込まれ、直接の地震被害を受けていない会社でも、サプライチェーン（全工程までの会社間の役割分担や繋がり）の影響で倒産してしまった二次的被害も目立ちました。

リスク管理の意識が高まりつつあり、取引先やお客様からの要望で事業継続計画（BCP）が必須な時代になってきている。

BCPを策定・運用することで、緊急時の対応が向上するのみならず、経営改善、取引先との信頼性が向上するなど、企業価値の向上が図れる。